

- ①～⑥ 動力消防ポンプ設備概要表に準ずる。
- ⑦ 無窓階の有無を記入し、有の場合は該当する階を記入する。
- ⑧ 各階の用途及び設置する誘導灯の個数を該当する欄に記入する。既設は（ ）書きで記入する。
- ⑨ 各項目の該当するものの□内に✓をすること。
- ⑩ 各項目の該当するものの□内に✓をすること。また、（ ）内には該当する内容を記入すること。
- ⑪ 常用電源の電圧及び専用か兼用かを○で囲み、兼用であれば兼用する設備を記入する。非常電源は、各項目の該当するものの□内に✓をすること。
- ⑫ 配線は施工方法、使用電線及び使用電線の太さを記入する。
- ⑬⑭ 動力消防ポンプ設備概要表⑯⑰に準ずる。

消 防 用 水 概 要 表

防 火 物 模 対 象 規 模	構 造	階 数		建築面積 ③ ㎡	敷地面積 ⑤ ㎡
	① 耐火 耐 火 他 所 の	地上 ② 階 地下 階		延べ面積 ④ ㎡	棟数 ⑥
棟 別 概 要	棟別	1	2	3	4
	構 造				
	建 築 物 の 高 さ		m	m	m
	1 . 2 階 の 床 面 積 合 計		㎡	㎡	㎡
	延 べ 面 積 (地 階 は 除 く)	⑦	㎡	㎡	㎡
	延焼のおそれのある部分に該当する棟				
採 水 口 の 配 管 等	採 水 口 の 設 置 位 置 ⑧				
	車 両 進 入 状 況 ⑨ 採水口まで進入可能な位置 m				
	採 水 口 前 面 空 地 ⑩ m × m				
	採 水 口 の 型 式 ⑪ 1. 吸管投入型 2. 吸管結合型				
	吸管投入口の大きさ及び数 ⑫ 直径 m ヶ所				
	吸管結合金具の寸法数 ⑬ T野式 口径 mm ヶ所				
	配 管 の 材 質 , 寸 法 ⑭ S 口径 mm				
水 源	種 類 ⑮ 地下式 2. 半地下式 3. 据置式 4. その他 ()				
	貯 水 槽 ⑯ m ³ 専用・兼用 ()				
	有 効 水 量 ⑰ m ³ ヶ所				
実 揚 程	フート弁から採水口までの配管口径等 ⑱ mm 長さ m				
	配管の摩擦損失水頭 ⑲ 単位 m				
	落差(水槽の下端から採水口まで垂直距離) ⑳ 単位 m				
加 圧 ポ ン プ	起 動 装 置 ⑳	電 圧 V	使用配線	操作方式	位置 地盤面からの高さ m
	起 動 表 示 灯	電 圧 V	使用配線		灯の内径 mm
	別添加圧送水装置概要表参照				
設計, 施行業者氏名 ㉑					
備 考 ㉒					

この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

- ① 建基法上の該当する構造を○で囲む。ただし、複数の棟を有し、構造が異なる場合は、その他の欄を○で囲む。
- ② 建基法上の階数を記入する。ただし、複数の棟を有し、階数が異なる場合は、最高の階高の棟を記入する。
- ③～⑤ 複数の棟を有している場合は、最大の棟について記入する。
- ⑥ 同一敷地内の棟の総数を記入する。
- ⑦ 同一敷地内で「延焼のおそれのある部分」に該当する棟がある場合は、その棟について記入する。
- ⑧ 設置位置を記入する。
- ⑨⑩ 消防車両が進入可能な位置から採水口までの距離及び採水口附近の操作空地（空間）を記入する。
- ⑪ 該当するものを○で囲む。
- ⑫～⑭ 設置する吸管投入口の大きさ、吸管・配管の口径及びその設置個数を記入する。
- ⑮ 該当するものを○で囲み、その他は（ ）内に記入する。
- ⑯ 兼用する場合は（ ）内にその設備名を記入する。
- ⑰ 有効水量とは常時消防用水として使用できる水量をいう。
- ⑱～⑳ 吸管結合金具を使用する場合は、フート弁から採水口までの配管口径、長さ及び弁類等の摩擦損失水頭、落差を記入する。
- ㉑ 加圧ポンプを用いる場合のみ、電圧・電流の定格値、配線の使用電線、地盤面（床面）からの高さ及び操作方式を記入する。
- ㉒㉓ 動力消防ポンプ設備概要表⑯⑰に準ずる。

加圧送水装置概要表

加圧送水装置を用いる設備	① 消防用水		連結散水設備	連結送水管	
加圧送水装置の種類	②				
加圧送水装置	位置	③		認定番号	④
	型式(種別)			型式	
	口径	mm		原動機⑥ 電流	A
	揚程	m		電圧	V
	吐出量	L/min		出力	Kw
項目	型式等			寸法容量等	
ポンプ 附属 設備	呼水槽	材質 ⑦			たて × よこ × 高さ(cm) L × ×
		減水警報装置 ⑧	方式		
		警報移報場所 ⑨			
	フレキシブル管	公称水圧試験圧力 ⑩	MPa	内径	mm 長さ mm
	性能試験用配管	⑪	方式	内径	mm
	補給水管	⑫	方式	内径	⑬ mm
	呼水管			内径	mm
	オーバーフロー管			内径	mm
逃し管			内径	mm	
水 源	設置場所	⑭	種 別	地下式・据置式	
	有効水量	⑮ m ³		その他()	
	補給方法	⑯ 式	兼用設備	無・有(⑰)	
	減水警報装置	⑱ 方式	警報設置場所	⑲	
非常電源	非常電源の種類	⑳ 専用受電設備(高圧・低圧) ・ 自家発電設備 ・ 蓄電池設備			
	非常電源の型式等	⑳	認定番号	非常電源容量	設置場所
	⑳			KVA(AH)	
設計, 施工業者氏名					
㉑					
備考					
㉒					

この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

- ① 該当するものを○で囲む。
- ②③ 加圧送水装置の種類及び位置を記入する。
- ④ 認定番号を記入する。なお、()書きでユニット、単体の別を記入すること。
- ⑤⑥ ポンプ及び電動機の型式並びに吐出量等を記入する。
- ⑦ 材質及び容量等を記入する。
- ⑧⑨ 減水警報装置の方式及び警報装置移報場所を記入する。
- ⑩ 水圧試験圧力、内径及び長さを記入する。
- ⑪⑫ 方式（性能試験用配管は直読式又は差圧式の別、補給水管は自動式又は手動式の別をいう。）を記入する。
- ⑬ 内径は、管の呼び径を記入する。
……（例）50mm
- ⑭ 水源の位置を記入し、その水源の種別を○で囲むか又は記入する。
- ⑮ 有効水量を記入する。
- ⑯ 自動式又は手動式の別を記入する。
- ⑰ 水源の兼用設備の有無で該当するものを○で囲み、兼用するものは兼用設備名を記入する。
- ⑱⑲ 減水警報装置の方式及び警報装置の設置場所を記入する。
- ⑳ 該当するものを○で囲む。
- ㉑ 型式、認定番号、容量及び設置場所を記入する。
- ㉒㉓ 動力消防ポンプ設備概要表⑯⑰に準ずる。

連結散水設備概要表

防火対象概要		構造 耐火 準耐火 その他	階数		建築面積		用途		
			地上	地下	④	⑤	⑥		
			③			m ²		m ²	
設置状況	階別			地下1階	地下2階	地下3階	地下4階		
	床面積			m ²	m ²	m ²	m ²		
	送水区域数			⑦					
	1送水区域内で2以上防火区画			有・無	有・無	有・無	有・無		
	散水ヘッド个数			個	個	個	個		
ヘッドを省略する部分	階	用途	床面積	防火戸の種別・開口部面積		内装材料	代替設備		
			m ²	ヶ所	m ²				
		⑧	m ²	ヶ所	m ²				
ヘッド・制御弁等	項目		仕様		項目		仕様		
	ヘッドの型式		⑨ 開放型・閉鎖型		ヘッドの間隔		⑩ m× m		
	ヘッドの溶解温度		摂氏 ⑪ 度		ヘッド水平警戒距離		半径 ⑫ m		
	起動方式		手動 ⑬ 自動		開放弁の个数		⑭ ヶ所		
	起動装置		⑮		制御弁の个数		⑯ ヶ所		
	自動警報装置		種別 ⑰		ヶ所 最大警戒面積		m ²		
	表示装置		⑱		排水弁位置		⑲ ヶ所		
配管等	最大圧力		⑳ MPa						
	配管	⑳	JIS	吸水管 主管 配水管	mm mm mm	JIS	水圧試験圧力	MPa	
	管継	㉑	JIS	フランジ・ねじ込み・溶接 その他()		JIS	水圧試験圧力	MPa	
	仕切	㉒	JIS			JIS	水圧試験圧力	MPa	
	逆止	㉓	JIS			JIS	水圧試験圧力	MPa	
	送水	㉔	位置	双口型 個, 埋込・スタンド式, 口径 mm, 高さ m					
加圧送水装置 ㉕ 別添加圧送水装置概要表参照									
全揚程	ヘッドの設計圧力換算水頭		㉖		単位		m		
	配管の摩擦損失水頭		㉗		単位		m		
設計, 施工業者氏名 ㉘									
備考 ㉙									

この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

- ①～⑥ 動力消防ポンプ設備概要表に準ずる。
- ⑦ 各階の床面積、送水区域数及び設置ヘッド個数を記入し、1送水区域内に2以上の防火区画の有無で該当するものを○で囲む。
- ⑧ 連結散水設備の基準3(3)(スプリンクラー設備の基準Ⅱ4(2)に該当する部分を含む。)によりヘッドを省略した部分の用途(名称)及び当該床面積を記入し、代替区画に用いる特定防火設備である防火戸又は防火戸の別、開口部面積(防火戸等の設置してある部分の面積の合計をいう。)及び内装材料(下地共)を記入する。代替設備を設ける場合はその設備名を記入する。
- ⑨ 該当するものを○で囲む。
- ⑩～⑫ ヘッド間隔、標示温度及び1個のヘッドの水平警戒距離を記入する。
- ⑬⑮ 起動方式は開放型の場合のみ記入し、⑮の起動装置は感知器、スプリンクラーヘッドの別を記入する。
- ⑭⑯ 開放弁、制御弁の設置個数を記入する。なお、閉鎖型の場合は⑭の欄は無記入とする。
- ⑰ 自動警報装置の種別、最大警戒面積を記入し、設置箇所は防火対象物全体の設置個数を記入する。
- ⑱ 自動火災報知設備の受信機又は総合操作盤の位置を記入する。
- ⑲ 位置及び設置箇所を記入する。
- ⑳ 配管にかかる最大圧力を記入する。
- ㉑～㉔ 使用する配管のJIS番号と水圧試験圧力を記入し、吸水管、主管、配水管(横引き管等をいう。)の口径を記入する。管継手は該当するものを○で囲む。
- ㉕ 設置数、配管口径及び地盤面からの高さを記入し、埋込みかスタンド式か該当するものを○で囲む。
- ㉖ 加圧送水装置概要表を添付する。
- ㉗㉘ 設計圧力、ヘッド、配管の摩擦損失計算等を行い、それらの結果を記入し、その計算書を添付する。
- ㉙㉚ 動力消防ポンプ設備概要表⑯⑰に準ずる。

連結送水管・非常コンセント設備概要表

(棟別 ① 棟)

防 火 物 模 対 象 規	構 造 耐 火 準 耐 火 其 他	階 数 地 上 地 下	建 築 面 積 ④ m ²				用 途 ⑥					
			延 べ 面 積 ⑤ m ²									
設 置 状 況	階 数	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	
	放 水 口 個 数 ⑦ 位 置 床 面 以 上	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	
格 納 箱	放 水 口 格 納 箱	材 質 ⑧	板 厚	寸 法 (高 さ) (幅) (奥 行)		m × m × m						
	放 水 用 具 等 ⑨	材 質	板 厚	寸 法 (高 さ) (幅) (奥 行)		m × m × m						
		ホースの材質		m		本		噴霧切替ノズル 本				
配 管 ・ ホ ー ス 等	最 大 圧 力	⑩ MPa										
	項 目	材 質 等			口 径 等			そ の 他				
	主 ⑪ 管	JIS			口 径 mm			JIS 水圧試験圧力 MPa				
		立主管 ヶ所			湿式 乾式			高架水槽 専用・兼用()設備				
	放 水 口 ⑫	ヶ所			口 径 mm			個 数 単 口 形 個・双 口 形 個				
	送 水 口 ⑬	ヶ所			口 径 mm			設置場所～ スタンド式・埋込式 GLからの高さ m				
		単 口 形 ・ 双 口 形			ヶ 所							
	管 継 手 ⑭ S				フ ラ ン ジ ・ ね じ 込 み ・ 溶 接 其 他 ()			JIS 水圧試験圧力 MPa				
	仕 切 弁 ⑮ S							JIS 水圧試験圧力 MPa				
	逆 止 弁 ⑯ S							JIS 水圧試験圧力 MPa				
表 示 灯 ⑰	電 圧 V			配 線			設置位置					
	電 流 mA			灯 の 内 径 mm								
加 圧 送 水 装 置 ⑱ 別 添 加 圧 送 水 装 置 概 要 表 参 照												
非 常 コ ン セ ン ト 設 備	階 別 設 置 個 数 ⑲	1 1 階	1 2 階	1 3 階	1 4 階	1 5 階	1 6 階	1 7 階	1 8 階	1 9 階	2 0 階	
	電 圧 ・ 電 流 ⑳	相 交 流 V A			回 線 数	回 路		規 格	JIS-			
		寸 法 m × m			表 示 灯	電 圧 V		設置位置				
	保 護 箱 ㉑	材 質 板 厚 mm			電 流 mA		灯 の 内 径 mm					
		配 線 及 び 施 工 方 法 ㉒										
非 常 電 源 専 用 受 電 設 備 (高 圧 ・ 低 圧) ・ 自 家 発 電 設 備 ・ 蓄 電 池 設 備												
設 計 , 施 工 業 者 氏 名 ㉓												
備 考 ㉔												

この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

- ①～⑥ 動力消防ポンプ設備概要表に準ずる。
- ⑦ 各階の設置個数と床面から放水口までの高さを記入する。ただし、既設の放水口は（ ）書きで記入する。
- ⑧ 放水口格納箱の材質、板厚及び大きさを記入する。
- ⑨ ⑧に準ずるほか、ノズル、ホースの設置本数及びホースの長さを記入する。ただし、設置しない場合は空欄とする。
- ⑩ 配管にかかる最大圧力を記入する。
- ⑪ 配管のJ I S番号、口径及び公称圧力を記入し、湿式・乾式の別、湿式の場合は高架水槽の専用・兼用の別で該当するものを○で囲み、その容量を記入するとともに兼用する場合は、その設備名を（ ）内に記入する。
- ⑫⑬ 放水口、送水口の口径を記入し、単口形・双口形の別で該当するものを○で囲み、その設置数を記入する。なお、送水口は設置位置及び地盤面からの高さを記入し、型式は該当するものを○で囲む。
- ⑭～⑯ 連結散水設備概要表⑳～㉑に準ずる。
- ⑰ 表示灯の位置、内径、電圧値、電流値及び配線の使用電線を記入する。
- ⑱ 加圧送水装置概要表を添付する。
- ⑲ 各種の設置個数を記入する。ただし、既設のものは（ ）書きで記入する。
- ⑳ 電圧、電流値、回路数及び非常コンセントのJ I S番号を記入する。
- ㉑ 保護箱は大きさ、材質、板厚を、表示灯は電圧、電流値を、表示灯はその内径及び設置位置を記入する。
- ㉒ 回路の使用電線及び施工方法を記入し、非常電源は該当するものを○で囲む。
- ㉓㉔ 動力消防ポンプ設備概要表⑯⑰に準ずる。

無線通信補助設備概要表

防火対象物規模	用 途	①		階 数	階	延べ面積	m ²
使 用 区 分	専用・共用(警察用・防災管理用・その他(②))						
設 備 方 式	漏洩同軸ケーブル方式・漏洩同軸ケーブル及び空中線方式・空中線方式						
使用周波数帯域	MHz						
無線機接続端子	設 置 場 所					設 置 個 数	個
	許容入力(設計値)	W(連続)	保護箱(cm)	()×()×()			
増 幅 器	設 置 の 有 無	型 名	利 得	設 置 場 所			
			dB				
混 合 分 配 器	型 名	入 力 端 子 数	挿 入 損 失	設 置 場 所			
			dB				
混 合 器	型 名	入 力 端 子 数	挿 入 損 失	設 置 場 所			
			dB				
分 配 器	型 名	設 置 個 数	挿 入 損 失	設 置 場 所			
			dB				
分 波 器	型 名	設 置 個 数	挿 入 損 失	設 置 場 所			
			dB				
空 中 線	型 名	設 置 個 数	利 得	電 圧 定 在 波 比			
			dB	()MHzにて()			
漏洩同軸ケーブル	型 名	結 合 損 失	伝 送 損 失	使 用 長	耐 熱 措 置 方 法		
		③ dB	④ dB/km	m			
同 軸 ケーブル	型 名	伝 送 損 失	使 用 長	耐 熱 措 置 方 法			
		⑤ dB/km	m				
製 造 者 名	漏洩同軸ケーブル						
	空 中 線						
	分 配 器 等						
	増 幅 器						
設 計 ・ 施 工 業 者 氏 名	⑥ TEL						
備 考	⑦						

この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

- ① 令別表第1の該当する用途を記入する。
- ② 無線通信補助設備に「その他」の用途を共用する場合、総務大臣は所轄総合通信局長が認める他の用途を記入する。
- ③④ 結合損失、伝送損失それぞれの標準値を記入する。
- ⑤ 伝送損失の標準値を記入する。
- ⑥⑦ 動力消防ポンプ設備概要表⑩⑪に準ずる。

排 煙 設 備 概 要 表

(棟別 ① 棟)

防 火 対 象 規 模	構 造	階 数	建築面積	用途
	耐②火 準耐火 その他	地上 階 ③ 地下 階	④ m ²	⑥
			延べ面積	収容人員
			⑤ m ²	名 (⑦ 世帯)
項 目 ⑧				
排 煙 機	設置位置	階 室		
	機 械 室 の 構 造	壁	<input type="checkbox"/> 耐 火	<input type="checkbox"/> 不 燃 <input type="checkbox"/> その他 ()
		天 井	<input type="checkbox"/> 耐 火	<input type="checkbox"/> 不 燃 <input type="checkbox"/> その他 ()
		開 口 部	<input type="checkbox"/> 特定防火設備	<input type="checkbox"/> 防火設備 <input type="checkbox"/> 不燃
排 出 量	m ³ /min			
給 気 機	設置位置	階 室		
	機 械 室 の 構 造	壁	<input type="checkbox"/> 耐 火	<input type="checkbox"/> 不 燃 <input type="checkbox"/> その他 ()
		天 井	<input type="checkbox"/> 耐 火	<input type="checkbox"/> 不 燃 <input type="checkbox"/> その他 ()
		開 口 部	<input type="checkbox"/> 特定防火設備	<input type="checkbox"/> 防火設備 <input type="checkbox"/> 不燃
給 気 量	m ³ /min			
起 動 装 置	自動	<input type="checkbox"/> 自動火災報知設備感知器連動 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	手動	<input type="checkbox"/> 手 動 <input type="checkbox"/> 遠隔操作		
排 煙 口 等	大 き さ	m × m		
	設 置 位 置	<input type="checkbox"/> 天 井 面 <input type="checkbox"/> 壁 面 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	防 炎 区 画 の 構 造 等	防炎区画面積 (最大) m ²		
防炎区画の構造		<input type="checkbox"/> 耐 火 <input type="checkbox"/> 不 燃 <input type="checkbox"/> その他 ()		
風 道 口	風 道 構 造	<input type="checkbox"/> 耐 火 <input type="checkbox"/> 不 燃 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	区画ダンパー	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ()		
排 煙 出 口	<input type="checkbox"/> 屋上 <input type="checkbox"/> その他 ()			
給 気 口	給 気 方 法	<input type="checkbox"/> 自然流入 <input type="checkbox"/> 給気機 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	風 道 構 造	<input type="checkbox"/> 耐 火 <input type="checkbox"/> 不 燃 <input type="checkbox"/> その他 ()		
電 源	常 用 電 源	AC V		
	非 常 電 源	<input type="checkbox"/> 非常電源専用受電設備 <input type="checkbox"/> 自家発電設備 <input type="checkbox"/> 蓄電池設備 <input type="checkbox"/> 燃料電池設備		
設計、施工業者氏名				
⑨				
備考				
⑩				

この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

- ①～⑥ 動力消防ポンプ設備概要表に準ずる。
- ⑦ 消防用設備等（特殊消防用設備）計画書⑭に準ずる
- ⑧ 各項目の該当するものの□内に✓をすること。また、（ ）内には該当する内容を記入すること。
- ⑨⑩ 動力消防ポンプ設備概要表⑯⑰に準ずる。

パッケージ型消火設備の概要表

種 別	① I型 × () 台 ・ II型 × () 台	
認 定 番 号	号	型式記号
消火薬剤貯蔵容器等	加圧・蓄積 (MPa)	材質 内容積 L × 本
消火薬剤	種 別	型式番号
	貯 蔵 量	(1台当たり) L × 本 = L
加 圧 用 ガ ス	ガスの種別	窒素・二酸化炭素 ②
	充 填 量	(1台当たり) $\pi \cdot L \cdot \text{kg}$ × 本 充填圧力 MPa
ホース等	材 質	ノズル切替有無 有・無
	寸 法	長さ m (I型・II型)
	ホース収納方式	リール収納方式 ・ ホース架収納方式
設 置 場 所	設 置 階	
	台 数	
電 源	常用電源回路	単相・三相 AC V 電灯回路・動力回路
		DC V AH 充填方式：トリクル・浮動 使用別：専用・共同
	非常電源回路	種別 () 充填方式：トリクル・浮動 DC V AH 使用別：専用・共同
配 線	表示灯回路	露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他 ()
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他 ()
放 射 性 能	放 射 率	L / min
	放 射 距 離	m
	全量放射時間	秒
備 考		

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。

- ① I型、II型ごとにすべての設置台数を記入する。
- ② 消火薬剤の種別を記入すること。
……（例）強化液、第1種機械泡、第2種浸潤剤等入り水
種別が違う消火薬剤の設備を設置する場合は、備考欄に内訳を記入すること。

パッケージ型自動消火設備の概要表

認定番号・設置台数		認定型式番号		号×	台	型式記号						
消火薬剤貯蔵容器等		加圧・蓄圧 (MPa)		材質			内容積	L×本				
消火薬剤		種別		①		型式番号						
		薬剤量		容器別数量		L×容器本数	本	L×容器本数	本			
				L×容器本数	本	L×容器本数	本					
				L×容器本数	本	L×容器本数	本					
				L×容器本数	本	L×容器本数	本					
						= 総量	L					
加圧用ガス		ガスの種別		窒素・二酸化炭素								
本体設置状況		充填料		(1台当たり)		L・kg×本	充填圧力		MPa			
感知部		薬剤貯蔵容器等		②		接地端子		有・無				
感知部の種別		式		型 ()		型式番号:感第		号×	種	個		
		③		式		型 ()		型式番号:感第		号×	種	個
		式		型 ()		型式番号:感第		号×	種	個		
		式		型 ()		型式番号:感第		号×	種	個		
検出方式		④										
音響装置		音声・サイレン・音声+サイレン・ブザー・その他 ()					連動有無		有 ()・無			
手動起動方式		⑤										
放出導管		主管		材質:		呼び方:		分岐管		材質:		
		最大長さ		m								
放出口		材質:		放射量:		L / min						
補助散水栓		屋内消火栓 (1号・2号・易操作1号) ×		台	I型 ×	台	II型 ×	台				
電源		常用電源回路		単相・三相 AC		V		電灯回路・動力回路				
		非常電源回路		種別 ()		D C		V		A H		
配線		常用電源回路		露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他 ()								
		非常電源回路		耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他 ()								
		警報回路		耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他 ()								
		その他の回路		I V 電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他 ()								
階	階面積	主な用途		同時放射区域数	最大同時放射区域面積	放射口数	備考					
階	m ²			区域	m ²	個						
階	m ²			区域	m ²	個						
階	m ²			区域	m ²	個						
階	m ²			区域	m ²	個						
階	m ²			区域	m ²	個						
階	m ²			区域	m ²	個						
階	m ²			区域	m ²	個						
階	m ²			区域	m ²	個						
合計				区域		個						
備考												

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。

- ① パッケージ型消火設備の概要表②に準じて記入すること。
- ② 設置場所を記入すること。
- ③ 感知器の種別を記入すること。
……（例）光電式スポット型、差動式スポット型
- ④ 煙式と熱式の併用
- ⑤ 手動で作動することができる装置を設ける場合にあつては、記入すること。